



金属のガス溶断について学ぶ金属加工科の学生(右)と、ボール盤の基本操作について学ぶ木工科の学生(上)



石巻高等技術専門校



有線ネットワークシステムについて学ぶ通信システムエンジニア科の学生(右)と、アプリケーション開発について学ぶプログラムエンジニア科の学生(上)



白石高等技術専門校

# こんな人材を育てている

高度化された電気通信システムに幅広く対応できる技能者を育成

「通信システムエンジニア科」では、有線ネットワークシステムの構築や、無線リーダーの操作、通信機器の接続など、情報通信分野における有線・無線に対応した技術操作・メンテナンスに必要な知識・技能について2年間学びます。

本校は、総務省から「第一級陸上特殊無線技士」の養成施設の認定を受けており、修了と同時に同資格を取得することができ、また、電気通信工事・情報配線施工・電気工事に必要な資格取得も目指し、業界の多様なニーズに応える人材を育成します。通信インフラは、日々進化する情報社会において必要不可欠であり、通信工事業界は常に新しい人材を求めています。こうした背景もあって、ここ数年、同科の就職内定率は100%を誇り、夏過ぎにはほとんどの学生の就職先が決まります。

ソフトウェア開発に関する知識技能を総合的に学ぶカリキュラム

「プログラムエンジニア科」では、ソフトウェア開発を担うプログラマやシステムエンジニア(SE)の育成を行っています。

溶接・機械加工・板金の技能を学び地域産業を支える人材を育成

「金属加工科」では、機械加工、溶接技能、板金加工といったものづくりの一般的な知識・技能を1年間かけて習得します。各種工作機械・手仕上げ工具を用いた簡単な産業用機械部品の製作や、各種溶接や板金、塗装、仕上げの作業について訓練を行います。

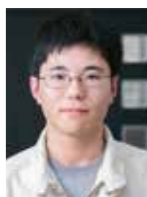
金属加工技術は、小型電子部品や自動車、鋼橋など様々なものづくりに応用されています。特に溶接技術は、地元製造業のニーズが高く、同科では溶接の技能訓練に力を入れています。まず、在学中に「JIS溶接技能者適格性証明書」や「ガス溶接技能講習修了証」などの各種資格の取得を目指します。さらに、黄綬褒章を受章した地元の熟練技能者を招いた技術指導や宮城県溶接技術競技大会への参加を通じて、学生は技術を磨いています。

また、就職への心構えや社会人としての基本マナーを学ぶため、外部講師によるセミナーや、企業訪問への個別対応など学生の就職支援も行い、2年連続で就職内定率100%の実績をあげています。

家具・建具を製作する技術を学ぶ県内唯一の職業訓練課程

「木工科」では、家具・建具などの設計・加工・取付けまで作業ができる職人を養成しています。

通信システムエンジニア科 2年 阿部 哲次さん



東日本大震災で、電話やメールなどが使えなくなり、不便な経験をしたことがきっかけで、情報通信の仕事に興味を持ちました。授業は初心者のものでわかりやすく、情報通信やプログラミングの勉強や、基盤のはんだ付けの実習など様々なことを学んで、幅広い知識や技術を身に付けることができました。

情報理論の基礎やコンピュータの構造をはじめ、ソフトウェア開発には欠かせないプログラミング言語などについて学び、様々な国家資格や民間資格の取得を目指します。実習では、データベースやネットワークなどを扱う技術も同時に身につけ、プログラマと連携させることによって情報技術の総合力を高めています。また、同科ではプログラミング言語やソフトウェアのマニュアルに使われる英語に対応できるように、カリキュラムの中に英語の学習も取り入れています。2年間の課程を修了した学生のほとんどが、ソフトウェア開発企業や企業の情報処理部門などに就職し、活躍しています。

どちらの科も、情報通信工事業界やIT業界で働いていたスペシャリストが指導にあたり、学生は現場で求められる最新の知識や技能を身に付けることができます。

金属加工科 1年 綾部 喜記さん



地元でもものづくりの仕事に就くために有利だと聞き入学しました。機械や設備、作業中の激しい音や光に驚き、最初はできるかどうか不安でした。しかし、実習では自分が上達していく様子を実感でき、楽しく学ぶことができました。就職先では溶接の仕事をすることになるので、ここで学んだことをもっと伸ばしていきたいです。

「のこぎり」や「かん」などの基本的な取り扱いや手入れの方法を覚えた後、継手や仕口などの基本的な工法について学んでいきます。手工具の取り扱いを一通り訓練した後は、ルーターやボール盤などの木工機械の操作や調整の方法について学び、引き出しや開き戸などの製作を通じて家具・建具の基本構造を理解していきます。

さらに家具・建具を製作する一連の流れを理解するため、設計や塗装についても訓練を行います。

1年課程の同科を修了すると、国家検定資格である「2級家具技能士」や「2級建具製作技能士」の学科試験が免除され、受験に必要な経験年数(2年)も不要になります。そして、ほとんどの修了生が、木工製作所などに就職し活躍しています。

本校では毎年2月に「技能ふれあい祭り」を開催し、学生が製作した木工家具や金属製品の展示販売を行っています。自分が作った物が売れる喜びを直接感じ、ものづくりのやりがいを感じ、醸成する良い機会となっています。

プログラムエンジニア科 2年 千葉 澄音さん



高校生になって、スマートフォンを買ってもらい、コンピュータやアプリケーションに興味を持ちました。そして、将来はプログラマになりたいと思い、高校を卒業後、この学校に入学しました。実習では、スマートフォンのアプリ開発の実習があり、日常で使われているようなアプリを楽しみながら作ることができました。

プログラムエンジニア科 修了生 (平成27年度) 株式会社エス・エヌ・テクノロジー 阿部 玲皇さん



工業高校で建築について学んでいましたが、在学中にITによるものづくりに興味を持ち、システム開発関連の企業への就職に必要な知識を学ぶため、入学しました。授業では、プログラミングの基本的なほか、民間企業で仕事をしてきた先生から現場の体験談を聞くことができ、就職してからとても役に立っています。

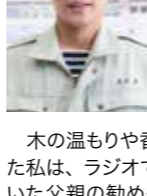


白石高等技術専門校  
2001年に開校。現在、通信システムエンジニア科とプログラムエンジニア科の2学科を設置している。情報化時代を担う人材育成を目指し、高度なデジタル通信技術や情報処理などの情報の知識や技能習得のための訓練を実施している

所在地  
白石市白川津田字新寺前 5-1  
TEL 0224-35-1511  
FAX 0224-27-2110  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/srkogsn/

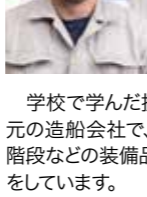


木工科 1年 平 侑弥さん



木の温もりや香りが大好きだった私は、ラジオで学校のことを聞いた父親の勧めもあり、ここで本格的に木工を学ぶことにしました。道具の手入れや調整、手加工や機械加工など、正確さが求められる場面が多く最初は苦戦しましたが、少しずつ技能が身に付き、今では自分の思うような加工ができるようになりました。

金属加工科修了生 (平成27年度) 株式会社 ヤマニシ 安倍 琢馬さん



学校で学んだ技術を生かし、地元の造船会社で、船内の手すりや階段などの装備品を溶接する仕事をしています。今の仕事は、職場の先輩やほかの業者の人と一緒に仕事をすることが多いので、学校で仲間と協力して技を磨きながら培ったコミュニケーション力が、とても役立っています。



石巻高等技術専門校  
1943年に「石巻造船技術補導所」として開校。1964年、現在地に移転し、訓練科目の改廃や新設を行い、「石巻高等技術専門校」に名称を変更する。現在、金属加工科、木工科、自動車整備科の3学科を設置。各産業に必要な技能者を養成している

所在地  
石巻市門脇字青葉西 27-1  
TEL 0225-22-1719  
FAX 0225-94-7399  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kougi/

